

支笏湖 幌平山(718m) 南尾根直登コース、山行記録

山行日	H30年3月3日(日)
山行形式	日帰り登山 スキー及びスノーシュー
参加者	藤木(たか)リーダー (スキー) 藤木、澤田、石井、山岸、渡邊、太田、八重樫、門馬、西田(芳)
計19名	(スノーシュー) 西田(昌)、鈴木、小笠原、栗山、光浪、嶋原、本野、川村、及川
天候	晴れのち曇り、微風 雪質:少し重い 新雪部:≒20cm

① 3月1日～2日にかけて、爆弾低気圧の強風と吹雪に襲われた北海道、今回計画していた山行にも影響が出た。当初のルスツ黒竹山が大雪の為、支笏湖、幌平山に急遽変更となる。連絡が来たのは前日の午後5時、リーダー泣かせの天気です支笏湖畔までの道路は、雪もさほど無く、除雪されており問題なかった。湖畔沿いの斜面に鹿の集団がいた。今迄こんなに見たことがないとSさん。100頭以上いたか？道路に出てこないか慎重運転。イチャンコッペ山登山に使う展望台駐車場一杯。我々も当初予定していた駐車場が使えなく、手前の車寄せに止めそこから登る。

(山行時間)

時刻	場所・状況・行動
7:00	幌別駅集合
9:00	駐車場着
9:20	ー:ー登山開始 450m
11:15	幌平山頂上、ツェルトで昼食
12:10	下山開始
13:10	駐車場着(スノーシュー15分早く着)
～	入浴 アルテンの湯
14:30	幌別駅解散
時間	登り 1:55分 下り 1:00分

③ 頂上の看板、見当たらない。ピンクテープが付いている。強風で飛ばされたか？我々の他に十数人が居る。イチャンコッペ側ルートから来たのか。この山は見晴らしも良く色々コースを選べ、スキー、スノーシュー共楽しめる山だ。パウダースノーの時来たいものだ。登頂写真時、リーダーより「本日のサプライズ、Iさんの誕生日祝い。そして還暦のお祝いをします」と。



② 道路を渡って樹林の中に入る。まず予定コースの稜線に向けて進む新雪が20センチ位か、少し重雪だがラッセルには問題ない。風も無く林間コースを順調に高度を上げて1時間、現在地を確認。予定よりだいぶ頂上に近いところのコース取りとなっている。雪崩に注意しながら登ると1人の男性登山者が追い越していく。「トレースを使わずに貰いました」と。稜線下600mからは斜度もきつくなり体もきつくなるが上を見ると青空と稜線、下を見ると支笏湖が、左には恵庭岳の爆裂火口と素晴らしい眺めの中登るとに頂上に。



還暦のIさんおめでとう！ 全員登頂も



青空の稜線下、素敵な斜面



振りむけば支笏の輝く湖面、スノーシュー班



さすがDrOさん、埋もれるIさんを助ける

④ 頂上でツェルトを張り、昼食をとる。そこでお祝いのケーキでなく「桜モチ」。今日3月3日お雛様がIさんの誕生日(60才)。「嘘だろうあの強面が、全然マッチしないよ！」等々。皆でハピバステイを歌ってお祝いしました。帰りのスキーは雪が重くなり自由に回転出来ませんが林間コースも無事滑走下山しました。色々ありましたが楽しい山行でした。雪質のよい時又チャレンジしたい山ですね、リーダーお疲れ様、ありがとうございました。

記 西田